

「四日市港戦略計画 2019～2022」の概要

1 「四日市港戦略計画 2019～2022」の位置づけ

「四日市港戦略計画 2019～2022」は、四日市港長期構想（平成 21 年 8 月策定。概ね 20 年後を想定。）及び四日市港港湾計画（平成 23 年 4 月改訂。平成 30 年代前半が目標年次。）で示した方向性を実現していくための実施計画と位置づけます。

2 計画期間

4 年間（2019 年度～2022 年度）とします。

3 取組内容

（1）政策 1 物流を支援する港づくり

4 年間でめざす姿

- ✓ 背後圏の産業を支える総合港湾としての機能が充実している港
- ✓ 荷主企業や船会社から選ばれる港

施策の概要

<施策 1 0 1 企業ニーズに対応した港湾サービスの充実>

航路誘致や集荷対策を進めることにより、港勢が拡大するよう取り組むとともに、港湾活動支援サービスの適切な提供を通じて港湾活動が向上するよう取り組みます。

<施策 1 0 2 企業ニーズに対応した港湾施設の充実>

企業ニーズに対応した港湾施設の整備等に取り組むとともに、港湾施設の長寿命化や水域施設の適切な管理に取り組みます。

4 年間で新たにに取り組む事業や整備等が完了する主な取組

- ◇ LNG 燃料船等の入港料の減免措置を導入します。
- ◇ 霞ヶ浦北埠頭 81 号岸壁の整備に向け、具体的な検討を行います。
- ◇ 霞ヶ浦南埠頭 23 号岸壁のアンローダーの改修を行います。
- ◇ 霞ヶ浦地区の未利用地の整備に取り組みます。

（2）政策 2 人流を創出する港づくり

4 年間でめざす姿

- ✓ 県民・市民が身近に感じる港
- ✓ 陸からも海からも人が訪れ、賑わっている港

施策の概要

<施策 2 0 1 親しまれる港づくりに向けた交流機会の充実>

イベント等の実施や、客船等の寄港により、賑わいを創出し、県民・市民の皆様に四日市港を理解し、親しみや愛着を感じてもらえるよう取り組みます。

<施策 2 0 2 親しまれる港づくりに向けた交流空間の充実>

歴史的・文化的資源を活かし、景観に配慮した施設整備を行うとともに、客船等の寄港に向けた受入環境を向上させ、交流空間の充実に取り組みます。

4 年間で新たにに取り組む事業や整備等が完了する主な取組

- ◇ 2019 年度に四日市港まつりを四日市地区で開催します。
- ◇ 市街地から港へ訪れやすくなるよう、情報提供施設等を設置します。
- ◇ 四日市地区で受入可能な客船や艦船を四日市地区で受け入れます。
- ◇ 大型客船に対応できるよう、霞ヶ浦南埠頭 24 号岸壁の係留施設を改修します。

（3）政策 3 地域を守る港づくり

4 年間でめざす姿

- ✓ 背後地の住民・企業や港の利用者等の生命・財産を守る港
- ✓ 地球環境や自然環境の保全に貢献する港

施策の概要

<施策 3 0 1 安全・安心を守る仕組と施設の充実>

地震・津波・高潮等の自然災害に対する防災・復旧体制を充実させるとともに、海岸保全施設の耐震強化や長寿命化に取り組みます。

<施策 3 0 2 環境を守る機会と空間の充実>

水環境の保全、環境学習等の実施、海浜・干潟等の自然環境の保全、温室効果ガスの削減効果のある施設の整備等に取り組みます。

4 年間で新たにに取り組む事業や整備等が完了する主な取組

- ◇ 放置艇対策として港内に放置等禁止区域・禁止物件を指定する規制を行います。
- ◇ 豊栄樋門排水機場のポンプ設備や常用発電機の更新を進めます。
- ◇ 温室効果ガス削減に向けて、次世代自動車の導入を進めます。
- ◇ 荷さばき地等の照明施設の LED 化に取り組みます。

4 計画のマネジメントについて

戦略計画に係るマネジメントについては、毎年度「Plan（企画）－Do（実施）－Check（評価）－Action（改善）」のマネジメントサイクルを回していくことで、目標達成に向け着実な進捗を図っていきます。なお、毎年度の取組の成果と課題、翌年度の取組について成果報告書を作成し、公表します